



7月29日（金） 晴れのち曇り。

今日は、3週間前に作った土器を野焼きする日。野焼きの指導は、土器の形づくりに続き、陶芸家の宮本先生と（公財）滋賀県文化財保護協会の鈴木先生にお願いしました。



10:15 柴や木炭に火を付け、十分に乾かした土器を火の周囲に並べ、底の部分、側面、上部と向きをかえながら、じっくりと約3時間かけて焼きました。

日中の気温は30℃を超え、その上、土器を焼く炎で熱く、大変でしたが、塾生はゆっくりと火のそばに近づき、薪や柴を継ぎ足しました。



13:15 火床の上に網に乗せ、その上に土器を並べて、さらに高い温度で焼き続けました。土器は少し赤色を帯びてきました。



15:00 火床に薪や枯草を追加して、炎を大きくしました。

その後、自然に炎がおさまるのを待ち、火を落とし、土器の熱を冷ましました。土器上げは明日です。



途中、6月18日に植えたサツマイモの苗が1m近くに成長しており、特定の芋に栄養を集中させるため「つる返し」を行いました。

昼食は、カレーライスと串きゅうり。お代わりをする塾生が続出しました。





午後からは、「ツリーイング」と「草木染」に挑戦しました。

専用のロープを使って木に登る「ツリーイング」。

丈夫な木の枝から下がっているロープを見上げて、「あんな高いところに登るの」と少し不安げな塾生もいましたが、インストラクターの福島さんらの指導で、ハーネスで体をしっかり固定し、バランスを取りながら少しずつ、自力で木を登りました。

高く登るにつれて景色が変わり、「風が気持ちいい」と声をあげていました。



次に草木染作家の竹内先生の指導で、絹のハンカチを杉の葉で染める「草木染」を体験しました。

まず、出来上がりに模様をつけるため、布をつまんで、輪ゴムできつくしばり、染料がしみ込まない部分を作りました。



次に、杉の葉を煮込んだ染料液にハンカチを浸した後、みょうばん媒染液で発色と色を定着させました。

水洗いの後、よく染まるように再度、杉の染料液に浸し、最後に水洗いしてから脱水して、軒下で干しました。

「イメージどおり」出来ていると満足な様子でした。

